

製品名: Bc10 ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab07483**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	ICC/IF,ELISA
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率 ICC/IF 1:200-1:1000,ELISA 1:20000-1:40000

分子量

抗原情報

遺伝子名	BLCAP
別名	BLCAP; BC10; Bladder cancer-associated protein; Bladder cancer 10 kDa protein; Bc10
遺伝子 ID	10904.0
SwissProt ID	P62952
免疫原	抗血清はヒト BLCAP 由来の合成ペプチドに対して作製された。AA 範囲: 38-87

背景

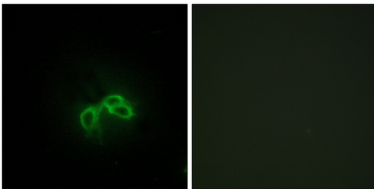
この遺伝子は、アポトーシスを刺激することで細胞増殖を抑制するタンパク質をコードしています。選択的スプライシングと選択的プロモーターの使用により、同じタンパク質をコードする複数の転写バリエーションが生成されます。この遺伝子は脳にインプリントさ

れており、それぞれの親アレルから異なる転写バリエーションが発現します。上流プロモーターから開始する転写バリエーションは母性アレルから優先的に発現しますが、散在する NNAT 遺伝子 (GeneID:4826) の下流から開始する転写バリエーションは父性アレルから発現します。この遺伝子座の転写産物は A から I への編集を受ける可能性があり、その結果、タンパク質の N 末端の 3 つの位置でアミノ酸変化が生じます。[RefSeq 提供、2015 年 11 月],類似性: BLCAP ファミリーに属します。組織特異性: 子宮頸部組織で発現します。膀胱癌の進行期およびほとんどの子宮頸癌においてダウンレギュレーションが見られます。,

研究分野

-

画像データ



BLCAP 抗体を用いた NIH/3T3 細胞の免疫蛍光染色。右の写真は合成ペプチドでブロックした状態。